



郁美さんが描いたアートセラピー絵画。



由來八幡宮の囃子に参加する娘たち。

山深い飯石郡飯南町で暮らす小林郁美さんは「森林セラピーの町・飯南町」のフリースに心惹かれ、自然のあるところで「子育て・親子がしたい」と、一家で静岡から飯南町へ「ターニン」してきた。

現在、郁美さんは週4日、地元の間がいの者就労支援施設に勤務し、障がい者の支援員を務め、ほか1日は自身が活動するアートセラピーとカウンセリングの仕事に、週末は子どもたちと一緒に過ごす時間に当てている。「今、とても充実しています。仕事と自分のやりたいこと、子どもたちと過ごす時間のバランスが良い状態です」と



地元の人たちと石州和紙でつくった作品。



森林に癒され、人に守られ  
子育て親育ちを実現中

静岡から2年前にターニン  
小林郁美(こぼやしいくみ)さん

子育て、教育、仕事。島根のここが素敵！

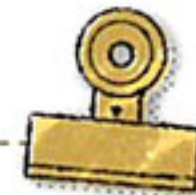
しまねで  
育む

働く  
ママの

話す。夏休みは子連れ出勤も許可してもらっていると言う。

子どもたちは夏になると虫鑑賞や魚釣り、冬は田んぼでソリ滑りなど、地域の人に守られながら、自然の中で伸び伸びと育っている。「2年生は1クラス13人の少人数ですが、先生から気に留めていただいたり、いろいろなおことにチャレンジさせてもらえて、ありがたいです」と郁美さん。

これからは森と人が調和するよ  
うな工房をつくり、島根の良さを  
県外へ届ける活動を行う予定だ。



W O M A N